

ふれあいひろば

旬の話題をお届けします。
(企画課☎85-9572)

広報はこね 平成26年2月



ほっとする味 今年もいただきます

1月6日、役場本庁駐車場で七草がゆの試食会が行われました。

一年の邪気を払うために試食に訪れた人たちは、春の七草や餅などと一緒に炊き上げたできたてのおかゆを口にすると、やさしい塩味にほっと一息ついたようでした。



絵本から飛び出てきた!?

12月26日、社会教育センターで、町立幼稚園・保育園の先生らによる読み聞かせの一環の「おはなし会」が行われました。

さまざまな絵本をただ読むだけでなく、道具や体を使って臨場感たっぷりに伝えられると、聞きに来た幼児らは食い入るように話に夢中になっていました。

1月14日、正月飾りやしめ縄などを燃やして無病息災を願う「どんど焼き」が行われ、仙石原文化センターの屋外広場では、月に見守られる中、火柱がバチンバチンと音を鳴らしながら夜空を赤く染めていました。
火が落ち着くと「これを食べると一年健康でいられる気がして毎年作るのよ。」と、紅白のだんごを焼く姿も見られました。



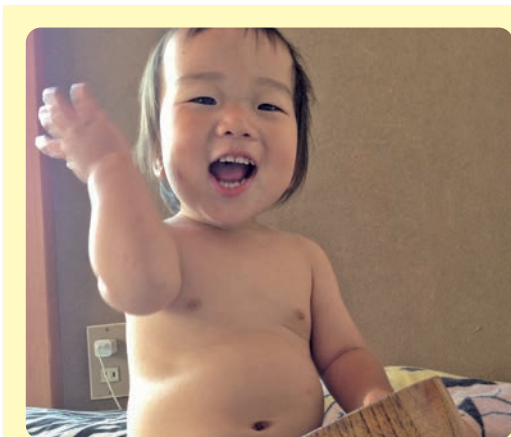
天高く燃ゆる月夜



湖の安全を願って

1月5日、芦ノ湖（元箱根）で湖水開きが行われました。湖畔での神事後、神主に扮した国学院大学1年の黒神容良さんが水上スキーで湖を回り、払い清めました。

粉雪が舞い気温が5度を下回る中での初滑りとなりましたが、参列者や観光客らが見守り、今年一年の安全祈願がなされました。



♥ 敬介さん・真祐美さんの次男（宮城野）
♥ お父さん・お母さんからひとこと
きつぺいちゃん ヤッホー♥

やまだきつぺい
山田桔平くん（1歳10か月）

わが家のアイドル

編集後記

◇チームの絆が光った東洋大学の総合優勝で幕を閉じた箱根駅伝。この大会は数年前、私に一つの絆を授けてくれました。取材で待機中、隣でカメラを構える女性と話してみると彼女は母校の後輩と判明。それから交流が始まり、今年も芦ノ湖でレースの感動を分かち合いました。◇小学生の頃以来、久々にどんど焼きに行きました。当時まだ存命だった祖母は毎年団子をこしらえてくれ、それを竿の先に針金でくりつけて父と焼きに出かけたものです。取材中に分けてもらった団子は、甘くて少しほろ苦く、懐かしい味でした。(S)

1歳0か月～4歳11か月のお子さんの写真を大募集！ 企画課☎85-9572

《環境先進観光地—箱根》

重ね着などで暖かく！ 暖房は20℃を目安に
箱根町はチャレンジ25キャンペーンに参加しています。



町の人口と世帯 ●人口 13,219 (-19)
-1月1日現在- 男 6,405 女 6,814
()内は前月比 ●世帯 7,105 (-7)

編集発行：箱根町企画観光部企画課 〒250-0339 神奈川県足柄下郡箱根町湯本2560 ☎04600-8509572 FAX04600-8507577 印刷所：銚子橋印刷